

学校評価アンケートへのご回答、ありがとうございました。結果をご報告いたします。

- 1 評価は、保護者《A…よくあてはまる B…ややあてはまる C…あまりあてはまらない D…まったくあてはまらない》、児童《A…そう思う B…ふつう C…そう思わない》の人数です。
- 2 評価に対する分析・考察をそれぞれの項目の下に載せました。(A+B)の値が80%に満たない項目(網掛け部分)については対応策を合わせて載せています。
- 3 自由記述欄に書かれたすべての要望・感想に対する回答を最後に載せました。

項目	No.	学校の具体的な取組	保護者質問内容	評 価				児童質問内容 (児童質問時にはすべてひらがな表記)	評 価		
				A	B	C	D		A	B	C
家庭との連携	1	各種通信やホームページ、オープンスクール・授業参観、保護者会、ふれあいネットとの連携等を通して、学校の様子を知らせている。	学校は、行事の様子や児童の活動の様子を家庭にわかりやすく伝えている。	68%	29%	4%	0%	通信やホームページ、ふれあいネットは、自分たちのことがいっぱい出てきて、おうちの人もよく見えていますか？	82%	18%	0%
	2	学級・保健・学校だよりやホームページ、保護者会、PTAの会議等を通して、学校の教育方針を知らせている。	学校は、教育方針や担任の考えを保護者に分かりやすく伝えている。	63%	33%	4%	0%	おうちの人は、あなたが先生の不満を言った時、「先生は正しい」と言っていますか？(不満を言ったことのない人はAに○を)	75%	21%	4%
	3	電話や連絡帳、面談・家庭訪問等を通して、児童を共に育てるという観点で進めている。	学校は、保護者の相談に丁寧に対応し、生活指導面や学習指導面等で意思の疎通を図っている。	54%	39%	7%	0%	先生は、自分のいい所や悪い所を、おうちのの人に、きちんと話していると思いますか。	64%	25%	11%

【分析・考察】

○「学校の教育方針や、学校での児童の様子を保護者に伝えているか」では、概ね家庭に伝わっているという結果が出ました。しかし、「保護者の相談に対して、意思の疎通を図りながら共通理解のもとで進めていく」ことに関しては、保護者・児童共に若干低い値が出ています。お子さんのことで気になることがありましたら、遠慮なく担任まで連絡をしていただければと思います。学校としても、今後とも連絡を取り合っって児童の指導に当たっていく所存であります。

学力向上	4	提示物を準備したり、個別指導を充実させたり、児童のよさをとらえ、励ます声かけ等の取組を実践している。また、児童が主体的に学習に取り組めるように指導過程を工夫している。	学校は、授業をわかりやすく工夫し、授業中一人一人の児童を大切にしている。	41%	56%	4%	0%	先生は、勉強をわかりやすく教えてくれていますか？	86%	14%	0%
	5	学習過程(授業中の様子、意欲、努力)を重視した評価を心がけている。そして、その様子を便りや連絡帳等で知らせている。また、プラス面の評価を基本としている。	学校は、児童の能力や頑張りを認めようと、テストだけでなく、いろいろな面から評価を行っている。	36%	54%	11%	0%	先生は授業中に、あなたや友達をいっぱいほめてくれますか？	71%	29%	0%
	6	朝活動(算数スキルアップ)、理解状況をみながら、休み時間、放課後に補充学習を行っている。また、宿題や授業中のプリント等の点検はすぐに行い、児童に早く返している。	学校は、補充学習や個別学習・宿題プリントの配布・点検等を行っている。	48%	41%	11%	0%	先生はわからない所があると、休み時間や放課後にも教えてくれますか？(わからないことがない人はAに○を)	82%	18%	0%

【分析・考察】

○「分かる授業」については、児童の評価ほど保護者の評価が高くなっていませんでした。児童が「分かっている」と思っている、保護者はそうは思っていないことがうかがえます。「分かっているつもり」と「分かる」が必ずしも一致しないことも有り得ると心得て指導に当たってきたいと思います。学校でも担任間で指導に差が出ないように、組織として指導力向上の研修に日々取り組んでいきたいと考えています。
 ○「評価」については、テストだけでなく学習活動すべてにおいて頑張れたことを基本に評価するようにしています。ただ、その上でマイナス面についても、改善の方向や方法を示しながら指導してまいります。
 ○授業以外の「補充学習等」については、朝活動や昼活動等に計画的に組み込むとともに、必要があれば個別に放課後等を実施しています。ただ、その他の活動もありますので、本人の負担が必要以上にならないように配慮はしていきたいと思ひます。

心の教育	7	人間関係の基本であるあいさつの励行、縦割り班活動、休み時間の教師を交えた遊びを通して、人間関係を育んでいる。また、はっぴいふれんずデーやウィークを実施している。	学校は、人権を尊重する姿勢を基盤に、児童同士・児童と教師との温かな人間関係を育てている。	41%	37%	22%	0%	先生は友達と仲良くするように話してくれたり、あなたたちと遊んだり、お話してくれたりしますか？	70%	26%	4%
	8	道徳教育・読書活動の推進、ふるさと学習、規律を守る指導、様々な体験活動、保護者への行事公開等で、心を育てている。	学校は、豊かな心を持った児童を育てている。	35%	62%	4%	0%	先生は道徳の勉強をしたり、読書を勧めたりしてくれますか？	86%	11%	4%
	9	はじめある生活習慣づくり(各種の保健・健康調べ、学習用具調べ、学習規律遵守)の取組を行っている。また、学校生活のきまりを全職員が同一歩調で指導している。	学校は、学校生活や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	35%	58%	8%	0%	先生は忘れ物調べをしたり、ルールを守るように話したりしてくれますか？	86%	14%	0%

【分析・考察】

○「あいさつ」については、他校の児童と比較しても、万場小の児童はよくできていると認識しています。今後は学校外でも、一人の時でも、自信を持ってあいさつができるように指導をしていきたいと考えています。それには、教師から率先してあいさつをするなど、教師自身の人権感覚を高めて指導に当たっていくよう徹底したいと思ひます。
 ○学校が行っている道徳教育・読書活動・ふるさと学習等の特色ある教育活動については、今後も保護者や地域の皆様へWEBページ等で紹介していきたいと思ひます。

項目	No.	学校の具体的な取組	保護者質問内容	評 価	児童質問内容	評 価
----	-----	-----------	---------	-----	--------	-----

目	No.	ナレッジ・スキル・知識・技術	不登校児向け	児童・生徒向け				保護者向け	保護者向け		
				A	B	C	D		A	B	C
健康安全 教育	10	危険回避能力を高める避難訓練、保護者及び支援者による見守り活動の工夫、登下校の歩道・学校施設の点検を年間計画に組み込んで行っている。	学校は、学校内・登下校の安全対策をとっている。	44%	52%	4%	0%	学校は、「避難訓練」や「交通安全教室」をして、安全に生活できるようにする練習をしたり、危険なことに気をつけるように教えたりしてくれていますか？	89%	11%	0%
	11	大地震や大雨等による自然災害発生の際に備え、引き渡しカードを使った児童の安全な下校策を示している。また、事故や疾病による非常時に備えたマニュアルを整備している。	学校は、非常時の対応マニュアルを整備し、児童や保護者に対応策(行動方法)を知らせている。	48%	44%	8%	0%	大きな地震があったときは、おうちの人が迎えにくるまで、下校できないことを知っていますか？	82%	14%	4%
	12	歯みがき指導や各種保健指導、学校保健委員会による啓発等を計画的に行っている。また、体力向上・健康保持のために、「朝マラソン」を実施したり、運動遊びの環境を整えたりしている。	学校は、児童の健康づくりに積極的に取り組んでいる。	50%	50%	0%	0%	学校は虫歯や病気になるように検査をしたり、気をつけることを教えたりしてくれていますか？	89%	11%	0%

【分析・考察】

○災害発生時には各機関と連携して対応に当たる「非常時対応マニュアル」がありますが、年度当初に保護者に公開をしていなく申し訳ありませんでした。
 ○「朝マラソン」については、読書活動等の他の活動との両立を図りながら実施していきたいと考えています。万場小の児童の運動機会の増進、基礎的な運動能力、肥満傾向児の少なさ等の点で効果は十分に
 出ていると思われます。

経営全般	13	保育所・中学校・高等学校との連携(特に小中連携)・教育委員会等と連携して、教育活動・相談活動を行っている。また、様々な機関、団体からの支援を積極的に受け入れている。	学校は、関係機関との連携を進めている。	31%	46%	23%	0%	学校の外に出かけたり、他の学校の人や大人の人が学校に来たりして、いろいろなことを教えてくれることがたくさんありますか？	64%	36%	0%
	14	学習以外に、縦割り班活動・朝の活動・ボランティア・学級の係活動、専門委員会活動等で、児童の活躍場面を設定している。また、自主的な遊びの中での学びを大切にしている。	学校は、児童が自分のよさを発揮したり個性を伸ばしたりできるようにしている。	39%	57%	4%	0%	縦割り班清掃、係活動、委員会活動(4～6年生)、七夕かざりつけなどの活動の中には、あなたがいっしょけんめい活動できるものがありますか？	86%	14%	0%
	15	社会教育主事の支援を受けながら、学校支援ボランティアの方々や地元の方々にお世話になりながら、教育活動を行っている。また、自然を生かした学習を積極的に進めている。	学校は、地域の教育力を生かしている。	57%	43%	0%	0%	学校の先生だけでなく、いろいろな先生がきてくれて、うれしいですか？	68%	32%	0%

【分析・考察】

○他校種、関係機関等の連携につきましては、教員同士の連絡調整等により行事の重複を避けることに配慮してきましたが、不十分な部分がありましたら要望等を学校まで連絡していただきたいと思ひます。小中連携につきましては、高学年を中心に中学生と合同での行事をいくつか実施していますが、学校が離れているためになかなか増やすこともできません。今後は、群馬県の現在の小中連携の流れである教育課程の連携(小中9年間で同じ教育方針で進める教育活動・同じ授業等)を推進していきたいと考えています。

*自由記述欄に書かれた保護者の意見(書かれていたものはすべて掲載)と学校からの回答

○自主学習に対して、担任の先生は必ず一言コメントを書いてくれるのでうれしく励みにもなっているようです。様々な場面でのそのような細かい気遣いは心の成長に良い影響を与えてくれると思ひ、感謝しています。
 ⇒【学校より】今後も児童の頑張りに対しての評価をしていきたいと思ひます。それが励みとなり、やる気につながっていったら最高です。すべての児童に気配りができるところが、少人数学級のよさだと考えます。
 ○宿題等の配布プリントを教師側で配布し忘れた場合の対応策。連絡網やオクレンジャーの活用、親子とともにどうしたらよいか不安になる。
 ⇒【学校より】学校で配布忘れに気付いた場合等は、オクレンジャーや電話等で連絡いたします。連絡がなく不安に思ふ場合には、遠慮なく学校まで連絡してください。
 ○学校以外の場所で先生に会ってもあいさつがないのはどうかと思う。 ○あいさつが得意でない先生が何人かいらっしやるように見えて残念です。(ほとんどの先生はしてくださるので余計に目立ってしまうように思う)
 ⇒【学校より】あいさつは人間関係づくりの基本です。校内でも学校外でも教師から率先垂範してあいさつができるように、そして相手に気持ちが伝わるように徹底して参ります。
 ○災害が発生し引き渡しカードを使って下校する時は、オクレンジャー等で連絡してくれるのか？また、どのような対応になるのか改めて教えていただきたい。 ○非常時の災害マニュアルが整備されているかどうかがホームページに載っているわけでもないの判断できない。
 ⇒【学校より】災害発生時の恐れ等で緊急対応が必要な場合には、オクレンジャー等で連絡いたします。詳細は引き渡し訓練に向けた通知を配布しますのでご覧ください。なお、災害時の対応マニュアルの提示も含め、本来年度当初に保護者に提示すべきところでしたが、提示が遅れ大変申し訳ありませんでした。災害マニュアルにつきましては、直ちに学校ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。

ご協力ありがとうございました。 アンケートに限らず、ご意見等は、いつでも学校までお寄せください。